

2023年3月

EXPERT では、STANDARD の範囲に以下の内容が加わります。

- 2次元配列

STANDARD では1次元配列まででしたが、EXPERT では2次元配列が加わります。

2次元配列では、2つの添字の使い方に注意してください。

また、文字列と配列の組み合わせや、ポインタ配列、構造体配列、さらには、配列を指すポインタなど、他の要素と組み合わせたプログラムも出題されます。それぞれの要素を確実に理解し、組み合わせていく力を蓄えてください。

- 関数

引数と戻り値の働き、呼び出し側と関数側との整合をよく理解してください。引数に配列やポインタ、構造体が指定された場合の振る舞い、実引数への影響など、関数を利用するにはポインタの基本を理解している必要があります。

再帰関数の理解は必須です。

- 構造体

構造体を並べた配列、構造体を指すポインタ、ポインタ型の構造体メンバといった要素を利用したプログラムが出題されます。プログラムとデータ構造が頭の中で結びつくように練習してください。問題文中に図で示されることも多いので、図とプログラムが対応できるようにしておくとい良いでしょう。

- 組み込み型プログラム

IoT を意識した組み込み型プログラムが出題されることがあります。回路が提示されていることもあり、経験がないと驚いてしまうかもしれませんが、実機での実技はできませんので、シミュレーションになります。問題文に惑わされず、何が問われているのか、落ち着いて考えるようにしましょう。

以上